

# 新入社員への手紙

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。  
社会人としての新しい人生がスタートし、  
心配や不安もある反面、  
希望と期待を胸に新たな一步を踏み出された皆さんに、  
さまざまな経験を積んで活躍されている先輩方から、  
心のこもったメッセージをいただきました。

きっと、“土木の魅力とやりがい”を  
感じ取ることができるはずです。

Doboku  
株式会社 東京



## ものづくりの楽しさを知る

イワサ ハルカ  
岩佐 遥花 加勢造園株式会社 工事部

4



## 新入社員の皆さんへ

ワタナベ コウダイ  
渡部 滉大 長谷川体育施設株式会社 関東支店 工事部

5



## 未来の建設技術者の皆さんへ

サトウ ワタル  
佐藤 渉 フジタ道路株式会社 首都圏支店 中関東事業部長

6



## ものづくりの楽しさを知る

新入社員の皆様、御入社おめでとうございます。

新しい環境でワクワクする反面、不安や緊張の日々を送られていると思います。

そんな皆様に私が最近感じたこととお話します。息抜き程度に読んで下さい。

私が造園会社に入社しもう丸7年が経ちました。現場代理人として日々施工管理を行っています。大きな現場を任されるようになったのはここ2年ですが、自分の現場を持つと人間の持つ可能性の大きさや土木の面白さに気が付きます。

皆さんが住む街のインフラストラクチャーは、すべて人の手で作られたものです。

「手」というのは「hands」の意味で、本当の人間の手です。土を掘る、碎石を均す、コンクリートを打つ。無数にある構造物はひとつずつ人の手によって地道に作られてきました。重機を使うじゃないか、という声が聞こえてきそうですが、重機を動かすのも人の手であり技術の一つです。

人の手が持つ技術には計り知れないものがあります。言葉や数値には表せない、その人が持つ感性や経験が反映され、技術として発揮されます。裏を返せば、技術は経験値であるとも言えます。

私は職人ではありませんが、入社してから様々な現場で(鬱陶しがられながらも)職人に交ざって手を動かし作業を経験してきました。好奇心旺

盛な性格なので作業をしてみたくなくなってしまふ、というのがありますが。

皆さんもぜひ手を動かして経験を積み重ねてください。ものづくりの楽しさ、難しさを感じてください。作業をしてみたら、没頭しながらも「自分ってこんなに不器用だったっけ?」と思うはずですよ。

そしてその経験はのちに自分の仕事を面白くしてくれます。この街が、社会が、先人たちの膨大な努力と技術の積み重ねによってできていることを感じられるでしょう。

皆様が同じものづくりの仲間として加わってくれたことを嬉しく思います。共にたくさんの経験をし、ものづくりを楽しみましょう。



イワサ ハルカ  
岩佐 遥花

加勢造園株式会社

工事部



## 新入社員の皆さんへ

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。数ある業界の中から、建設業界で働くことを決めていただき、大変うれしく思います。皆さんは、多くの夢や希望を胸に、この業界を選んだのだと思います。また、同時に多くの不安や心配もあると思います。しかし、誰でも入社時はそう思っていました。皆さんもその不安や心配を乗り越えて、自分の夢や希望をかなえていってください。

私は、2016年に入社し8年間現場で施工管理に従事してきました。その中で1年目後半に補助的な立場ではありましたが、担当工区で1人になった時、初めて現場を任せられたという大きな喜びがある反面、何をしていけばいいか、全く分かりませんでした。現場管理の仕事は、学校で学んだ内容とは全く違った内容であり、とても戸惑いがありました。しかし、私の場合は自分の上司や、協力会社の職長に聞いたり、共通仕様書や施工計画書などを読んだりすることによって、自分のやるべき仕事とはなにかというのが、少しずつ分かってきて、稚拙ではあったと思いますが、何とか現場を完成させることができました。竣工時の達成感は大きく、言葉では表現できないほどの喜びです。現場では天候や思わぬ現場条件の変化により工程の遅れ、設計図と現場で測って作った図面が違う等、予想していない

イレギュラーな事態がたびたび起こります。そのイレギュラーな事態に対し現場監督は常に柔軟に対応していかなければなりません。そんな時は、上司や協力会社の方と話し合い、その工事に一番ふさわしい選択をして下さい。

最後になりますが、皆さん達、新入社員はもう学生ではなく、会社から給料をもらう社会人です。社会人は会社と社会に貢献しなければなりません。仕事をする際はいつでも自分がこの会社を背負っているという気持ちで仕事を行ってください。また皆さんの工事の経験はすべて貴重な財産となります。その経験を自分の知識として取り込み、蓄積していけば優れた技術者となるはずです。

これからの皆さんのご活躍を期待しております。



ワタナベ コウダイ  
**渡部 滉大**

長谷川体育施設株式会社  
関東支店 工事部





## 未来の建設技術者の皆さんへ

新入社員の皆さん、この度は入社、誠にありがとうございます。我々と同じ建設業界を選んで頂いたことを大変嬉しく思います。入社するにあたり、建設業界の先輩として一言、メッセージを贈りたいと思います。

建設業で提供する製品は、「一品受注生産」であり、一つとして同じ物は無いと私は思います。それを非常に多くの人々が関わり、力を合わせて作り上げて行きます。難易度が高く、苦勞した現場ほど、完成したときの達成感は格別です。その達成感を工事に携わった仲間と一緒に喜び合える素晴らしい職業です。また、「地図に残る仕事」とよく言われますが、21世紀に入りインターネットが普及したことで、地図アプリなどを活用すれば、机にいながらあらゆる場所を見に行くことができるようになりました。

時折、ふと過去を思い出し、自分が携わった現場を見に行くことがあります。そこでは、自然と風景に溶け込みインフラとして機能し、住んでいる方々の生活の一部となっています。そして、当時のことを思い出し、「一緒に苦勞した同僚や協会会社の方々は元気になっているかな。地元の方から頂いたフルーツは美味しかったな。」そんな事を思い出しながら、自分が苦勞してやった仕事は社会に貢献していると改めて実感しています。

近年は、毎年のように異常気象で、ゲリラ豪雨による河川の氾濫や、大地震によるインフラの被害が非常に多く発生しています。我々建設業に求められる役割は更に重要なものになってきています。

建設労働人口が年々減少していることを考えると、建設業界の生産性向上は急務となり、皆さんの若い力と時代に合った考え方を必要としています。我々と一緒にチャレンジして行きましょう。



サトウ フタル  
佐藤 渉

フジタ道路株式会社

首都圏支店

中関東事業部長

(令和6年3月1日現在)